

高田援護室長の模型部屋(最終回)

皆様こんにちは！さて私、高田援護室長の齊藤は、今春の異動で新潟地方協力本部を去ることになりました。したがって今回をもちまして最終回となります。「高田所長の模型部屋」から始まり約6年間、長きに渡り私の自己満足な世界にお付き合いいただき、本当にありがとうございました。時には応援メールを戴くこともあり、とても嬉しかったです。

新たな部隊でも頑張っ、模型を作り続けたいと思います。で、新たな出発ということで、今回は陸上自衛隊の新装備品である……

水陸両用車AAV7です。



水陸両用車は米国で開発された水陸両用強襲輸送車7型（AAV7：アサルト・アンピバー・ビークル）です。離島防衛強化を目的に陸上自衛隊に配備する予定です。陸自2色迷彩の車両の中で米軍迷彩のこの車両は目を引きますよね。いずれ陸自迷彩に塗装されるのかもしれませんが、米軍迷彩が塗装できるチャンスなのでチャレンジしてみました。

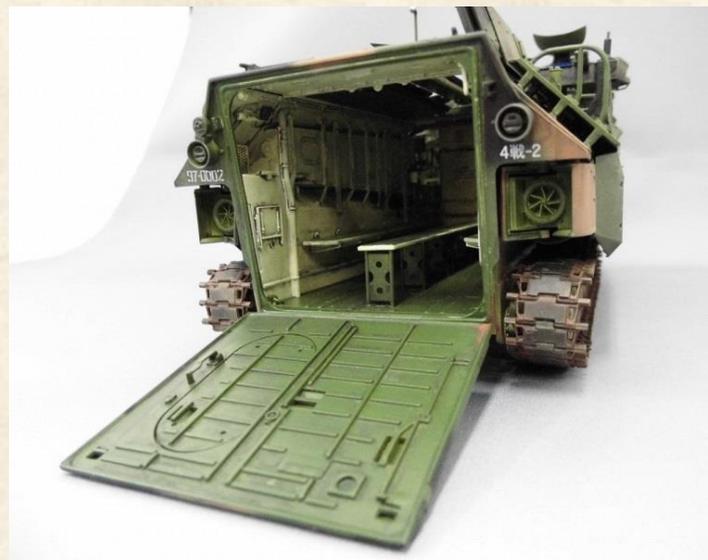
キットは童友社から昨年末に発売されたもので、年末の娘達との京都旅行で模型店を発見し、その店で定価7000円でしたが二度と手に入らないと思い、迷わず購入しました。ただ、このキットだけでは自衛隊仕様ならず、5Mホビーさんから発売されたアップグレードパーツを使用する必要がありました。これがまた4000円近くして、合計約11000円！高価な装備品になりました。



完成後は結構デカくなります。基本は米国仕様なので、ネットや雑誌の資料を見たり、先述のアップグレードパーツを使用して諸所手を加えました。ちょっと違うところもあるかもしれませんが完成させる事を重視してさっさと組み上げました。



可動ギミックがふんだんなキットです。先ずは後部の水上推進用のスクリュウ部のカバーです。ピンセットで慎重に開かなければなりません・・・



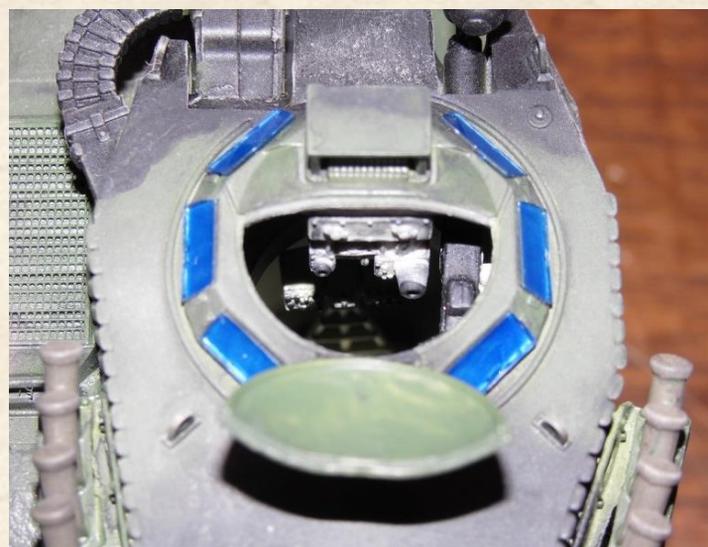
このキットの特徴は車内再現キット！実際に乗ったイメージが湧きます。様々な資料を見ながら塗り分けました。GS | クレオスのダックエッググリーンで塗装し、細部を塗り分けました。壁面の通信コード類はサインペンで塗りました。こんな手抜きでも、それらしく見えるから面白いです。



左：車内から車長席・操縦主席、右：砲塔内部バスケットを見ることが出来ます。うーん、リアルなキットです。



車体上部ハッチも開放できます。開放状態で止まらないので、針金でちょっと止めてます。車内の様子がよくわかります。結構広いんですね。消火器の多さが安全を重視する米軍らしさを感じさせます。車内はハッチを閉めても視認できるように明るい色で、ハッチ裏は開放しても目立たないように濃緑色で塗っています。これはどこの国の軍用車両でも同じですね。



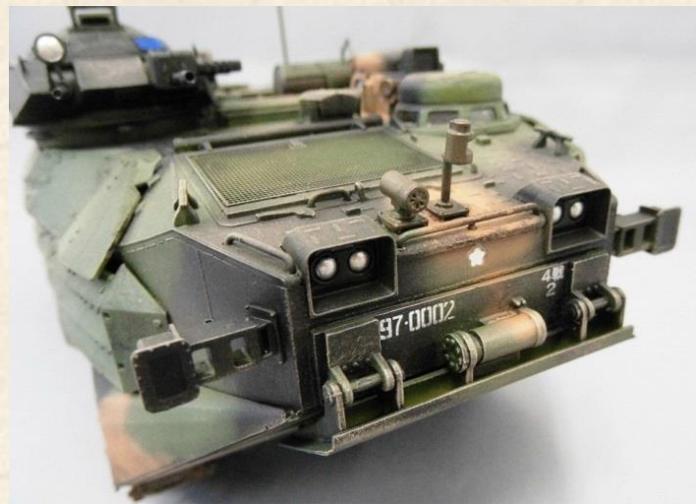
左上：操縦主席
操縦ハンドルや計器類が確認できます。

右上：車長席
座席が確認できます。

左：砲主席
照準機器や12,7ミリ重機関銃の重尾部が確認できます。

完成するとほぼ見えないんですが、軍事雑誌の写真などを見ながら塗り分けてます。

見えないところも手を抜かない！
これが漢ってもんよ(笑)



アップグレードパーツの使用など、自衛隊仕様にするための改造した箇所です。

左上：車体前上部の円筒形のサイレンとセンサー、左右に飛び出して装着されている方向指示器

右上：砲塔左右に取り付けられた発射発煙弾発射筒。米軍仕様の発煙弾のままの車体もあるようです。

左：安全灯火（棒の上）とマフラー
キットではマフラーに水の浸入防止弁が取り付けられていたのですが、実車では無いので、新たに円筒形のプラパーツに穴を開けて新規に作りました。



履帯は一枚ずつ組み立て式で、しかもゴムパットまで別パーツ！約170枚・・・悟りを開きそうな作業でした。

組み立て後、ゴムパットと履帯裏のゴム部を表現するためにフラットブラックで塗装し、金属部はすぐに錆びるためパステルコンテのこげ茶色を粉末にしてアクリル溶剤で溶いて塗り付けました。マフラーの錆びも同様です。



砲塔に搭載された自動擲弾発射機と12.7mm重機関銃はフラットブラックで塗装した後、メタルカラーのダークアイアンを重ねて金属感を出しました。ガラス部は裏からクリアブルー、クロームシルバーの順で重ね塗りし、透明パーツ用接着剤で取り付けました。



上陸時に使用する波切板も可動します。



上陸用意！
上陸援護射撃開始！！



さあ、妄想劇場の始まりです(笑)

前方〇〇灯台左、敵部隊！擲彈撃て！



命中！

目標変換、A道を右へ走行する装甲車、
重機関銃撃て！



命中、撃ちかたまで！

**こちらヒトマル、A浜に上陸！
B道沿いに前進する！**



おっと、いけない、また一人の世界に入り込んでました。
娘達にまた呆れた顔をされてしまいます。でも、模型って楽しい！
さて、名残惜しいですが、そろそろ終わりにしますか・・・



皆様6年間、応援ありがとうございました。